

2005年 (42巻) 第1号

第1号 (英文誌) 研究報告

p. 14-23 活性化因子によるニワトリ食細胞の細胞内カルシウムイオン濃度上昇(要旨)

永 勝・阿部浅樹・韓 松・近藤康博

p. 24-29 ニワトリハーダー腺における神経性一酸化窒素シンターゼ (nNOS) 免疫反応陽性神経の分布に関する共焦点レーザー走査型顕微鏡観察(要旨)

平松浩二・大島浩二

p. 30-38 在来種の攻撃行動が行動型に与える影響(要旨)

Zhi-Ling・Yen-Pai Lee

p. 39-47 ニワトリ卵管精子貯蔵管の構造と機能に及ぼす人工授精の繰り返しの影響(要旨)

シュバシユCダス・長坂直比路・吉村幸則

p. 48-55 成熟雄ウズラへの α -p-DDT長期間投与が繁殖能力および肝臓の構造に及ぼす影響(要旨)

ラニア ガウイッシュ・前田照夫

p. 56-63 ロイコトリエンB₄ (LTB₄) 刺激ニワトリ食細胞の細胞内カルシウムイオン動態に対するスペルミジンの効果(要旨)

永 勝・石塚 聡・韓 松・阿部浅樹・近藤康博

p. 64-69 ニホンウズラにおける「劣性黒色羽装」を示すミュータント(要旨)

藤原 哲・水谷 誠・小野珠乙・鏡味 裕

p. 70-78 RT-PCR法によるウズラ精子形成期のプロタミンmRNA発現細胞の同定(要旨)

ハイルンニサ ウピ・塚田 光・山本一郎・高木惣一・河ヨンジユ・フラビア アンナ・斉藤 昇・島田清司

研究ノート

p. 79-83 飼料へのL-カルニチン添加は産卵鶏の卵白品質を向上させる(要旨)

喜多一美・中嶋真一・中川二郎